

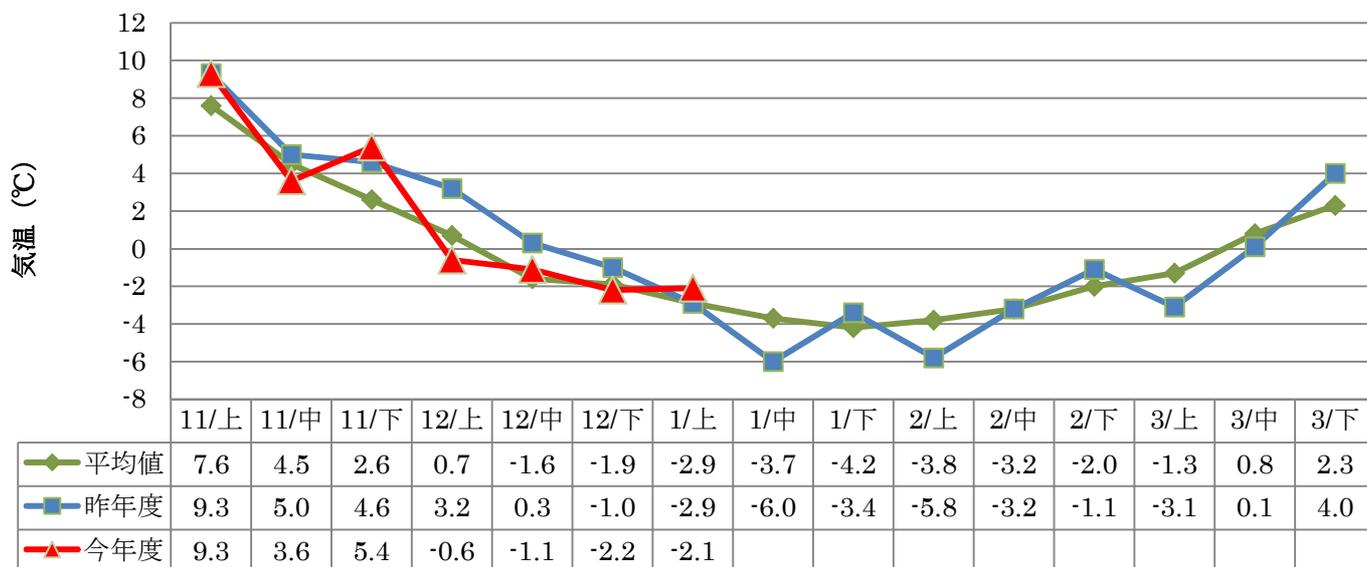


各区の降雪・積雪量（1 月 15 日現在）

		気象台	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
降雪量	平均値	245	202	269	252	213	265	168	220	196	272	225
	昨年度	186	199	288	289	200	295	190	198	172	227	230
	今年度	220	224	300	278	210	217	190	204	231	281	296
積雪深	平均値	51	51	72	74	58	65	48	60	54	68	62
	昨年度	54	51	83	85	52	71	45	53	44	59	65
	今年度	59	51	91	83	60	59	68	59	70	81	65

※気象台以外は、各区土木センターで計測した値です

平均気温



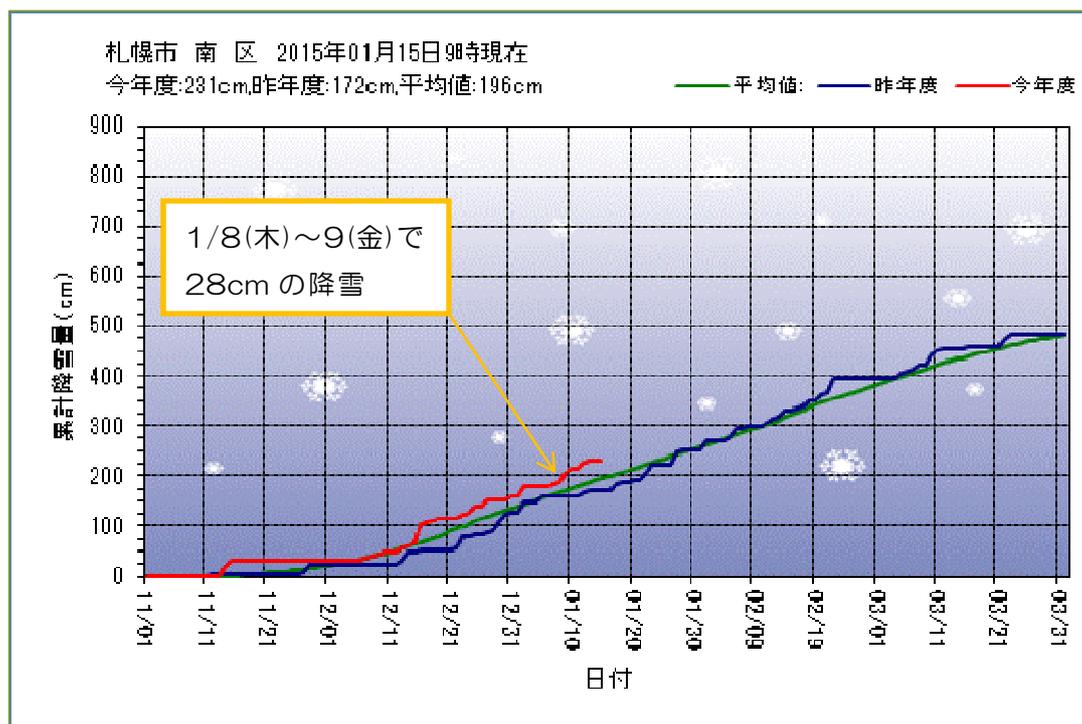
南区の気象状況と除排雪作業の状況

年末年始は比較的穏やかな天候でしたが、1 月第 2 週は大荒れとなりました。6 日（火）は気温上昇と雨、7 日（水）には暴風雪警報が発令され、猛烈な風を伴う雪となり、定山溪では 48cm の降雪を記録しました。8 日（木）、9 日（金）は区内全域で断続的な降雪となり、土木センターでは 2 日間で 28cm の降雪を記録しています。

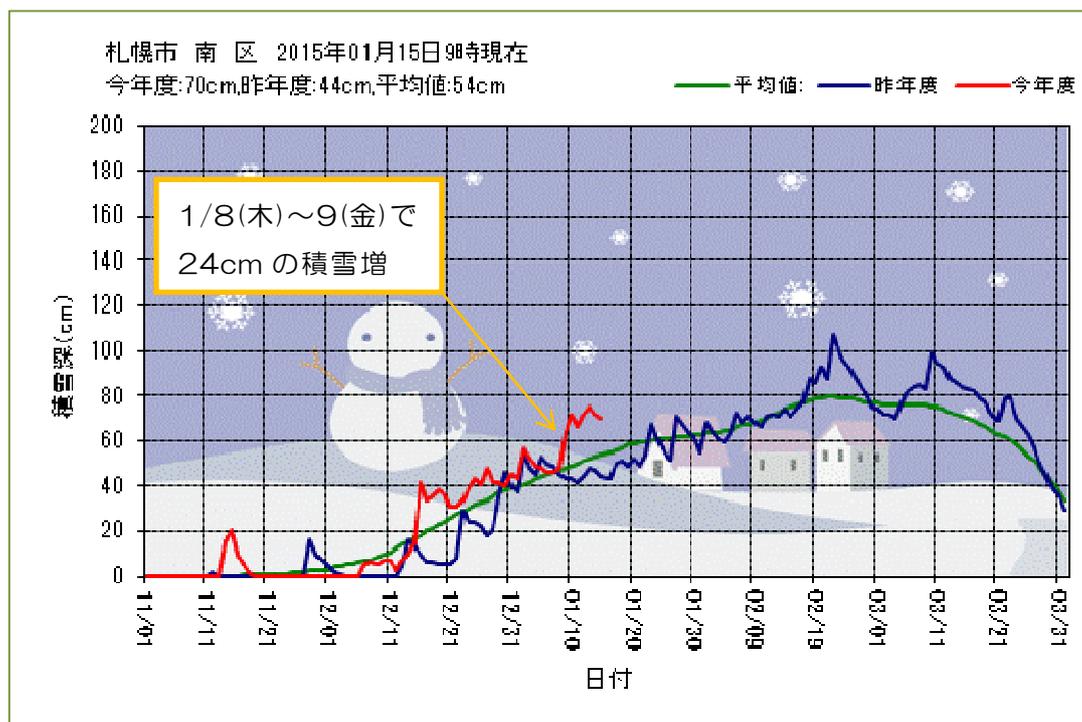
1 月 15 日現在の南区土木センター計測の累計降雪量・積雪深ともに平年値・昨年度を上回っています。

現在、幹線道路や一部の通学路を中心に排雪作業がピークを迎えています。悪天候の影響により遅れが生じていますが、小学校の通学路については 3 学期の始業式（20 日）に向けて排雪作業や拡幅作業を進めています。また、生活道路においては、路面の凸凹を削る路面整正と、横に広がった雪山を上積み上げる拡幅作業を順次進めているところです。

南区土木センター観測の累計降雪量（1月15日現在）



南区土木センター観測の積雪深（1月15日現在）



冬みちトピックス

除雪と排雪

札幌市では、バス通りなどの幹線道路や一部の通学路を対象に運搬排雪を行っており、生活道路については、「除雪パートナーシップ制度」や「市民助成トラック制度」により、市と地域の協力のもとに運搬排雪を行っています。

市民の皆様から、「もっと排雪する路線や回数を増やしてほしい」という要望をたくさんいただきますが、排雪には非常に多くの費用がかかります。

道路の幅にもよりますが、片側3車線の幹線道路で比較すると、雪を道路脇に寄せる「かき分け除雪」の費用は1キロあたり約3万円程です。これに対して排雪作業は、機械も作業員の数も大幅に多くなり、1キロあたり約240万円もかかります。排雪作業の費用は、除雪作業の費用の80倍にもなります。

現在行っている、幹線道路と一部の通学路のみ年1回の排雪と、雪たい積場の管理、パートナーシップ排雪等の負担分だけでも、除雪予算の半分近くを占めているのが実態です。

また、雪たい積場の確保が難しくなっていることや、ダンプトラックの台数が減っていることなどもあり、現状としては、今以上に排雪の路線や回数を増やすことはむずかしい状況です。

